

船舶事故等調査報告書

平成25年6月27日  
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2012神第211号
事故等種類	のり養殖施設損傷
発生日時	平成24年10月24日（水） 20時00分ごろ
発生場所	明石海峡西方沖 兵庫県淡路市所在の淡路室津港西防波堤灯台から真方位332° 9,700m付近 （概位 北緯34°36.2′ 東経134°49.7′）
事故等調査の経過	平成24年12月19日、本事故の調査を担当する主管調査官（神戸事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。
事実情報	
船種船名、総トン数	プレジャーボート BENETTÍ、18トン
船舶番号、船舶所有者等	250-26091大阪、個人所有
乗組員等に関する情報	船長、一級小型船舶操縦士
死傷者等	なし
損傷	本船 なし のり養殖施設 のり網の枠に損傷、アンカーロープの切断等
事故等の経過	本船は、船長が1人で乗り組み、同乗者4人を乗せ、GPSプロッター及びレーダーを作動し、明石海峡西方沖を約7ノットの対地速力で手動操舵によって西進中、船長が、考え事をしており、のり養殖施設に気付かず、平成24年10月24日20時00分ごろ、同施設に進入し、プロペラに同施設のアンカーロープが絡まり、航行不能となった。 本船は、その後、プロペラに絡まったアンカーロープを取り除き、海上保安部まで自力で航行した。
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 西北西、風力 2、視界 良好 海象：潮汐 満潮時
その他の事項	本船の喫水は、船首約1.2m、船尾約1.5mであった。 船長は、本事故発生場所付近を時々航行しており、のり養殖施設があることを知っていた。
分析	
乗組員等の関与	あり
船体・機関等の関与	なし
気象・海象の関与	なし
判明した事項の解析	本船は、明石海峡西方沖を西進中、船長が、考え事をしており、のり養殖施設に気付かなかったことから、同施設に進入して同施設が損傷したものと考えられる。

<b>原因</b>	本事故は、夜間、本船が、明石海峡西方沖を西進中、船長がのり養殖施設に気付かなかったため、同施設に進入したことにより発生したものと考えられる。
<b>参考</b>	今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。 ・操船中は、意識を集中して見張りを行うこと。